

公開実用 昭和60-130814

⑩日本国特許庁 (JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報 (U)

昭60-130814

⑬Int.Cl.

E 01 H 5/09

識別記号

厅内整理番号

7151-2D

⑭公開 昭和60年(1985)9月2日

審査請求 未請求 (全頁)

⑮考案の名称 携帯型除雪装置

⑯実願 昭59-15485

⑰出願 昭59(1984)2月8日

⑮考案者 岩村 成和 横浜市緑区大堀町174番地87

⑯出願人 岩村 成和 横浜市緑区大堀町174番地87

明細書

1. 考案の名称

携帯型除雪装置

2. 実用新案登録請求の範囲

1 案内筒(3)の両端に、案内板(1)を有する吸入口(2)と回転自在なる吐出口(6)を設け、又この案内筒(3)の内部にら旋状回転体(4)を組込み、これを駆動する小型原動機(7)を組合せた事を特徴とする携帯型除雪装置。

3. 考案の詳細な説明

この考案は小型軽量にして携帯可能な、雪等の粉体を移動させる装置に関するものである。

従来の除雪作業において、特に屋根上の雪下し、又狭い通路等ではシャベル等を使用した人力作業が主で、その労力及び作業時間の損失は多大である。

この考案は公知の除雪作業車等に見られる、ら旋状回転体を小型化し小型原動機に連係する事によりあたかも電気掃除機で床を掃除するが如く除雪作業が行なえ、労力の節減及び作業時間の短縮を得る事を目的とするものである。

この考案を2通りの実施例を上げて図面にもとづいて

(1)

実開60-150014

134

説明すれば次の通りである。

第1図、第2図示のものは縦型に使用した場合の実施例で、円筒型の案内筒(3)の下端に吸入口(2)を設け、この周囲に雪等を導入させる為の案内板(1)を取付け、案内筒(3)の上端には吐出口(6)を設け、更にこの口は回転自在に結合され吐出方向を上下左右に変える事が出来る、この案内筒(3)の内部にらせん状回転体(4)を組込み、案内筒(3)の上端に取付けた小型原動機により駆動される。

使用に際しては、ハンドル(9)を持ちシャベルを使用する如く雪中に案内板(1)を押し当てると言は吸入口(2)に導入されらせん状回転体(4)に接し、回転するらせん面に沿って上方に移動し吐出口(6)より放出される。

第3図、第4図示は横型に使用の場合の実施例で、筒状で前面が開口している案内板(1)内の全幅にピッチ方向が異なる一対のらせん状回転体(4a)を設け、即ち案内板(1)の前面より接した雪がらせん面の回転により中央に導入される様に設定され、このらせん状回転体(4a)は中央にペベルギヤ(11)が取付けられ案内筒(3)内に組込まれるらせん状回転体(4)の先端に取付けたペベルギヤ(10)に連係され回転する、この案内板(1)の全幅より中央に集められた雪を

ら旋状回転体(4)で上方に移動させ吐出口(6)より放出す
る。

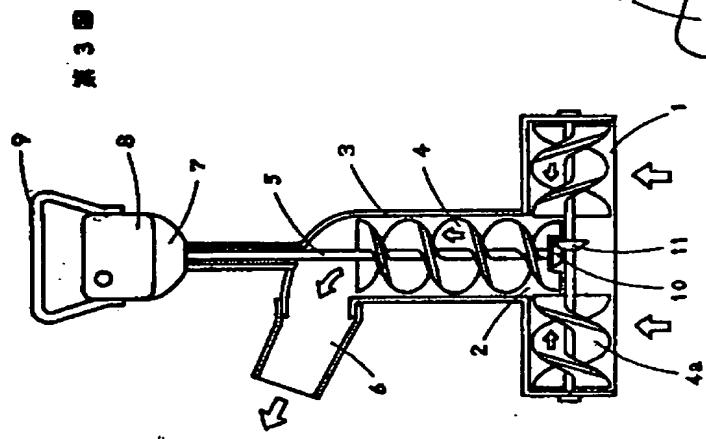
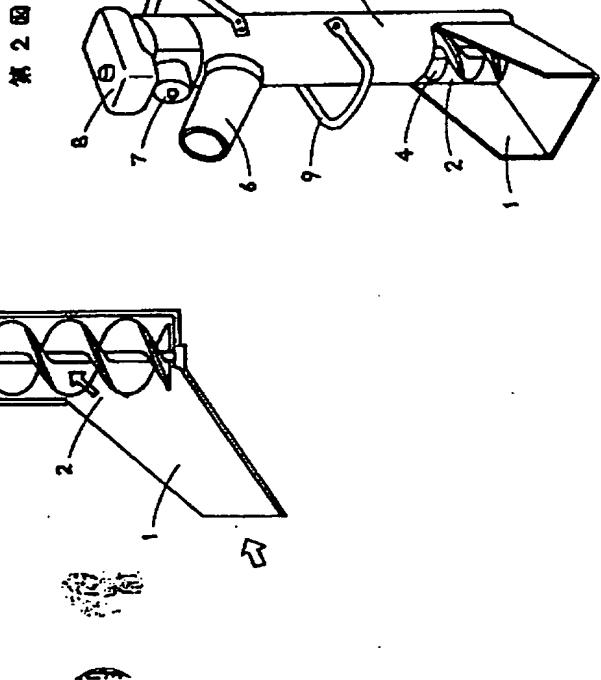
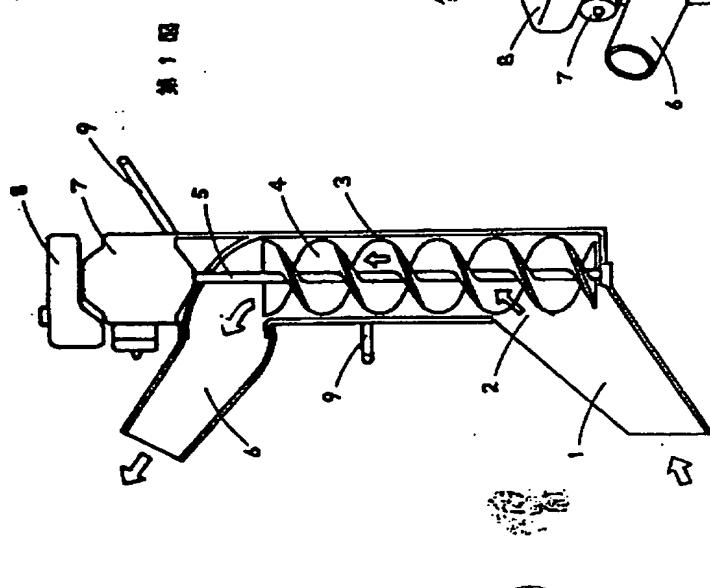
この考案は以上の説明のように従来にない小型軽量、
携帯性を特徴とする除雪装置である、しかも本考案は除
雪のみならず、土砂、じん介等の粉体の移動にも使用出
来るものであり、第3図示のら旋状回転体(4a)の外周を
ブラシ状とし、それを地面に接する様に設定するならば
より細かな粉体の吸入が得られ、又吐出口(6)に袋を装着
するならば集じん装置としても使用出来るものである。

4. 図面の簡単な説明

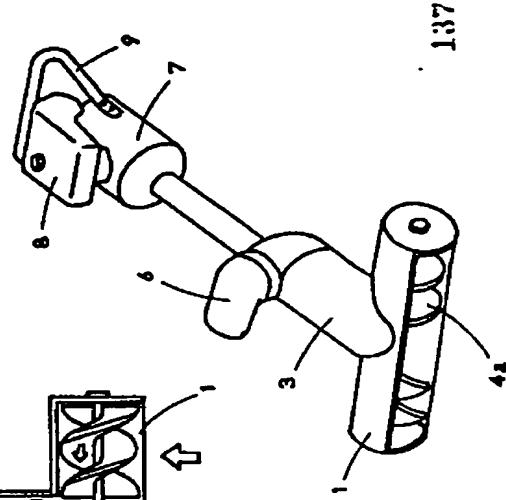
第1図は縦型使用実施例の一部切断側面図、第2図は
その外観図、第3図は横型使用実施例の一部切断側面図
第4図はその外観図である。

1、案内板、2、吸入口、3、案内筒、4、4a、ら旋状回転
体、5、回転軸、6、吐出口、7、小型原動機、8、燃料タ
ンク、9、ハンドル、10、11、ペペルギヤ、

実用新案登録出願人 岩 村 成 和



第4図



137

実用新案登録出願人 棚村成和

登録60-130814